

令和 7 年度

事業計画書

令和 7 年 5 月 24 日

一般社団法人 CARNIVAL WORKS



## 概要

**ただ、オモシロイ未来をみんなで創る。**

**Create an interesting future**

たくさんの笑顔で人と人との繋がりあり、

ワクワクする冒険心を掲げ立てるような

様々なプロジェクトに私たちは取り組んでいます。

ひとりひとりの心躍るストーリーは世界を変えると信じて。



## **human**

ひととひととが繋がって、新たな価値を生み出す。そしてまちの価値を新たな未来へとつないでいく。まちに生きる全ての人が笑顔になるような、「ひと」がど真ん中にいるまちづくりを行なっていきます。

## **community**

子どもも若い世代も高齢者も。すべての世代に役割があって、出番がある。繋がりの中で人と人が支え合うことのできる「まち」を目指して。

## **community education**

数えきれないまちの課題はみんなで考え、みんなで解決していく。地域の課題をじぶんごとにし、今何ができるか考える。ひとりひとりの可能性を引き出しながら、まち全体がキャンパスになる community education を。

【CARNIVAL WORKS HP】



## 目的

当法人は、地域との創意工夫と連携のもと、地域魅力向上と地域振興に寄与し、一人でも多くの人がここに住んで良かったと実感してもらえるようなまちづくり・人材育成事業を推進することを目的に、次の事業を行う。

- (1) まちづくりの推進を図る事業
- (2) まちづくりに関する調査研究及びコンサルティング事業
- (3) まちづくりに関する人材育成及び交流促進事業
- (4) 地域振興に寄与する商品・サービスの開発及び販売並びに飲食事業
- (5) まちづくりに関連する地域活動への支援事業
- (6) 公共空間の管理及びマネジメント事業
- (7) まちづくりに関連する他団体からの受託事業
- (8) 地域で子どもの健全育成を支える事業
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業



## 令和7年度事業計画

- (1) DRY FLOWER PROJECT
- (2) 無料塾 FOUR'S STUDIO
- (3) ANNEAU CAFE
- (4) 食と対話で支えるひとり親サポートプログラム
- (5) GLAMQUET KOORI
- (6) CARNIVAL BAZAAR
- (7) KIDS HOME KOORI
- (8) LAMPE DU CHOCOLAT
- (9) BROWN SUNDAY
- (10) わたし物語。
- (11) CHAPTER ONE！・・・新規事業（就労支援）
- (12) ピエロ書房（Pierrot Books）・・・新規事業



## (1) DRY FLOWER PROJECT

### 【目的】

廃棄寸前の花をアップサイクルし、ドライフラワーにて販売するという過程で、様々な困難を抱えた人たちの社会参画の機会を創出。また販売プロデュースを高校生・大学生が行うことで次世代の人材育成となり、収益は子ども食堂などに寄付することで、寄付文化を根付かせ、地域全体で子ども・若者を支える循環型の地域を生みだす。

### 【事業概要】

#### ① ロスフラワー回収

廃棄寸前の花の回収を行いドライフラワーにアップサイクルする。SDGsの視点からも地域・企業連携を促進する。

#### ② ドライフラワー製作

ドライフラワーを創るのは子育て世代の母親や児童養護施設等様々な背景を抱えた子どもたち・若者たち。困難を抱える人たちの社会参画の機会を創出。

#### ③ 販売・人材育成

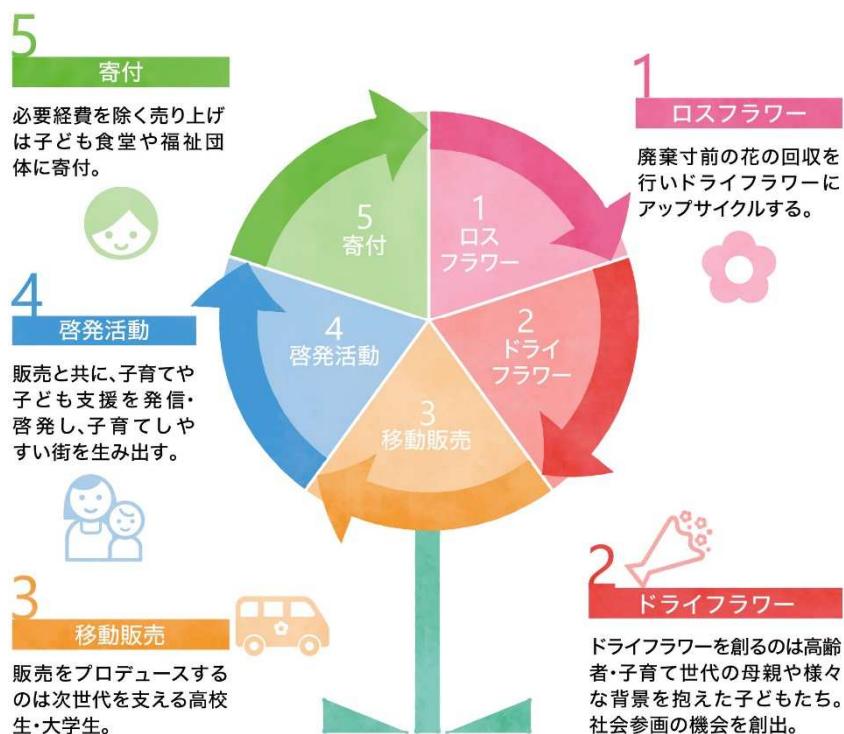
販売をプロデュースするのは次世代を支える高校生・大学生。子ども・若者の社会課題を考える機会を生み出す。



## 【連携企業（予定含む）】

- あとりえ悠然（ロスフラワー提供）
- 花小屋 aim（ロスフラワー提供・製作指導）
- yuki flower（ロスフラワー提供）
- FOUR'S MARKET（制作場所提供）

## DRY FLOWER PROJECT



## (2) 無料塾 FOUR'S STUDIO

【目的】ひとり親家庭を含め様々なご家庭を対象に、教育格差をなくし、楽しみながら子どもたちが学ぶことを目的とする子ども食堂の要素も取り入れ、食べること、学ぶこと、そして保護者同士の連携など多様なつながりを提供する。

### 【事業概要】

- 日時 月1回、17時～19時
- 場所 FOUR'S MARKET
- 対象 未就学児・小学生・中学生（1回20名）
- 講師高校生・大学生のボランティアスタッフ（1回あたり15名）

### 【連携企業】

- FOUR'S MARKET（運営協力）
- 株式会社いちい（運営協力）
- 一般財団法人ふくしま未来研究会（広告協賛）
- 一般社団法人福島馬主協会（ご寄付）
- 福島高校・福島東高校等（ボランティア・授業連携など）



### (3) ANNEAU CAFE

【目的】子どもたちの社会課題を提起し、地域と共に考え、寄付（チャリティ）という形で全員参加型のまちを生みだす。1杯のコーヒーを通して、福島に寄付文化を根付かせ、社会課題を解決する仕組みを創出していく。

#### 【事業概要】

社会課題を発信するカフェで、1杯300円程度のコーヒー等販売し、経費を除いた売り上げを寄付。運営は高校生・大学生が中心となって実施。年1回～2回開催予定。

#### 【連携企業（予定含む）】

- 株式会社いちい（運営協力）
- せいざん（販売・指導）
- 福島ガス（販売）



## （4）食と対話で支えるひとり親家庭サポートプログラム

### 【目的】

ひとり親家庭を中心に毎月 1 回程度の食の支援と SNS なども活用した相談支援や実際の相談の場を設け、一層見えにくくなっている孤立を防ぎ、SOS を拾える地域づくりを行なう。

### 【事業概要】

- 日時 月 1 回程度
- 場所 家庭訪問・無料塾開催時等
- 対象家庭 ひとり親世帯（約 30 世帯）
- 支援内容 福祉機関と連携した相談支援と食材提供

### 【連携企業（予定含む）】

- 福島中央テレビ
- 福島敬香ハイム（相談連携）
- 特定非営利活動法人ビーンズふくしま（福祉連携）
- 福島市子ども食堂 NET（福祉連携）
- 各ライオンズクラブ（物資提供）



## (5) GLAMQUET KOORI

### 【目的】

桑折町に新しく誕生するスーパー併設型のキャンプ・グランピング施設の運営。  
運営管理・施設維持を行うと同時に、子ども達向けの多種多様なイベントなどを  
企業・学生・地域を巻き込みながら実施。本施設を中心に、学生が戻ってくる町、  
子育てしやすい町づくりを地域全体で行っていく。またスタッフには多様性（ひ  
とり親家庭・障がい等）のある雇用を行い、様々な背景を持つ人が個性を生かし  
ながら、ひとりひとりが輝ける社会を生み出していく。

### 【事業概要】

施設運営・管理、マルシェ運営、イベント運営

### 【連携企業（予定含む）】

株式会社いちい



## (6) CARNIVAL BAZAAR

### 【目的】

ワクワクドキドキがあふれる魅惑のバザール！グランケット桑折を拠点に開催される CARNIVAL BAZAAR はハンドメイド作品やかわいい小物はもちろん、キッチンカーもやってくる楽しいイベント！子どもを笑顔にする空間とエコでサステナブルな取り組みにも力を入れています。

子ども支援や子育て支援の啓発活動ブースもあって、地域全体で繋がることのできる温かいイベント！桑折町の豊かな自然に囲まれながら、日常の忙しさをちょっとぴり忘れて、楽しいひと時を味わってください！

### 【事業概要】

年 2 回程度のまちづくりイベント開催

### 【連携企業（予定含む）】

- 株式会社いちい
- グランケット桑折



## (7) KIDS HOME KOORI

### 【目的】

KIDS HOME KOORI とは・・・子ども達の“楽しい”を真ん中に、子ども食堂や無料塾など、子どもの居場所づくりと笑顔あふれるイベントをたくさん開催していきます！桑折町全体が子ども達の HOME になるプロジェクトです！

### 【事業概要】

- 日時 月 1 回、17 時～19 時
- 場所 割烹仙台屋（桑折町）
- 対象 未就学児・小学生・中学生（1 回 20 名）
- 講師高校生・大学生のボランティアスタッフ（1 回あたり 10 名）

### 【連携企業】

- 割烹仙台屋



## (8) LAMPE DU CHOCOLAT

【目的】子ども支援チャリティに主眼を置いたチョコレート開発プロジェクト。障がい・引きこもり・フードロス・環境そして、子どもの未来・・・。製作過程には作業所のメンバーさんや引きこもりを経験したスタッフ。商品には廃棄予定の農作物やサステナビリティな食材を使用。デザインや販売は高校生・大学生たちが関わっていきます。そして、このチョコレートの売り上げの一部は、子どもたちのためにチャリティ。地域全体で社会問題への理解と関心を深める活動を展開。

### 【連携企業（予定含む）】

まちなか夢工房

中野屋菓子舗

いいろどりファーム

ささき牧場カフェ

持地＆遠藤農園

cafe tetote

akabon

バズクリエイターズ



## (9) BROWN SUNDAY

【目的】2024年冬、桑折町に誕生した自然豊かなグランピング施設が、甘美な香りとともに、一日限りのチョコレートの祭典「BROWN SUNDAY」へと変貌します。高校生と大学生で構成されたスタッフがチョコレートの無限の可能性を探求する祭典。

「BROWN SUNDAY」では、甘くて香り豊かなチョコレートがみんなを魅了することはもちろん、参加者を楽しませるイベントが盛りだくさん。そして、本イベントのチョコレートの売り上げの一部は、未来あふれる子どもたちを支援するためにチャリティされます。美味しいチョコレートを楽しみながら、社会貢献にも参加できるこのイベント。私たちと一緒に、チョコレートの魔法に包まれた一日を過ごしませんか？



## (10) わたし物語。

### 【コンセプト】

わたしが見てきた世界　わたしが過ごした時間

わたしが共にした仲間

わたしの大切な物語が　誰かの物語と重なって

わたし達の物語になる

モノだけでなく　そこにある物語を紡いでいく

サステナブルであったかい「わたし物語。」

世界がたくさんの物語で満たされることを願って

【事業概要】「わたし物語。」は、思い出の詰まった洋服やおもちゃを持ち寄り、他の参加者と物語を共有することで新しいストーリーを紡ぎます。持ち込み品と専用用紙に記入した物語を交換し、サステナブルで温かいコミュニティを築きます。



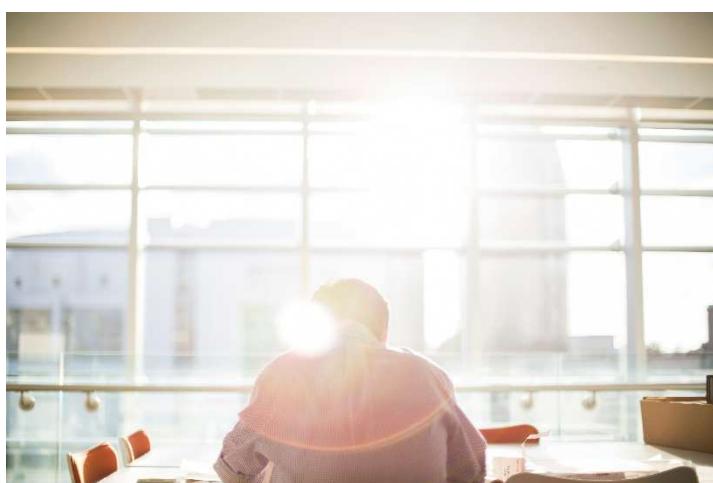
## (11) CHAPTER ONE !

### 【目的】

生きづらさを抱えた子ども・青少年の社会参画の機会の創出（不登校・非行・自立支援ホーム、ケアリーバー等）。様々な背景を抱えた子ども達、青少年に居場所と社会参画の機会を提供しながら、企業連携で職場体験、雇用の創出を行いそれぞれの CHAPTER ONE（第1章）を刻むプロジェクト。

### 【事業概要】

子ども食堂や各ボランティア先（企業・高齢者サロン等）と連携し、生きづらさを抱えた子ども達が社会参画により自己有用感を得る機会を創出する。企業連携による雇用創出を行うとともに、ジョブコーチを付けた形のアルバイトや雇用で、ひとりひとりに丁寧に寄り添いながら、離職を防ぎ伴走支援を実施する。



## (12) ピエロ書房

### 【コンセプト】

笑って、泣いて、驚いて——心が揺れる「ピエロ書房」

ピエロは人々を笑わせる存在。でも、その仮面の下には悲しみや深い物語が隠れている。本も同じ。読んだ瞬間に笑顔になる本、心が震える本、新しい世界へ飛び込む本。

ピエロ書房は、そんな「心が揺れる」出会いを届ける場所。

人と人が出会い、言葉を交わし、新しい価値が生まれる場。

小さな小さな本屋だからこそできる「ぬくもりのある選書」と「温かいつながり」を大切に。まるでサーカスのように、予測不能な驚きと感動が待っている。

そんな、行くだけでちょっと楽しくてふっと心が軽くなる本屋「ピエロ書房」

### 【事業概要】

人と本、人と人が出会う「小さなサーカス」

新刊販売に加え、本を通じたコミュニティの形成やイベント開催を軸に運営していきます。

#### ① 書籍販売（新刊）

独自の視点で選んだ本をラインナップ。



「ピエロのおすすめ本」コーナーを設置し、毎月テーマを変えて紹介。

## ② イベント企画・開催

「読書会・トークイベント」

本を読んで感想を共有する会や、作家・クリエイターを招いたイベントを開催。

「夜のサーカス朗読会」

閉店後の店内で、ロウソクの灯りの下、物語を語る特別イベント。

「GIFT BOOK」

大切な人に大切な本を贈る。本を贈る文化を創造します。

「地域連携」

近隣のカフェや雑貨店とコラボし、ブックフェアや限定メニューを展開。地域の

高校生やアーティストによる POP アップストアや作品展示を開催。

「オンライン活動・発信」

書店の公式 SNS や HP にて、「ピエロの本棚」としておすすめ本やイベント情報

を発信。オンライン読書会や、遠方のお客さん向けに「ピエロ選書便」などのサ

ービスを展開。

ふらっと立ち寄っただけで、少しだけ心が軽くなる――

そんな、「まちの小さなよりどころ」ピエロ書房を目指して。



## 小さな団体の大きすぎる挑戦をみんなと共に

拝啓 CARNIVAL WORKS を支えてくださったすべての皆さまへ

風の匂いが少しずつ春を含みはじめる頃、

令和7年度という新しい時間（とき）が幕を開けました。

改めてすべての皆様へ

深い感謝と共にご挨拶を申し上げたく筆を執りました。

一年という時間のなかで

いくつもの「場」をひらき

いくつもの「声」と出会い

いくつもの「問い合わせ」を心に灯してきました。

それは、誰かと肩を並べて座る時間でもあり

声にならない気配に耳をすます瞬間でもあり

そして、目に見えないものに、目をこらす日々だったようにも思い

ます。



わたしたちの営みは  
いつもゆっくりで  
いつもささやかで  
世の中の「速さ」と比べれば、あまりにも不器用かもしれません。

それでも、その「遅さ」こそが  
誰かのまなざしに確かに触れた瞬間の重さであり  
耳を澄まし続けることでしか聴こえない声の繊細さであり  
あるいは、いまを生きる人たちの心の深さそのものであると信じています。

そして、思うのです。

たった一つの言葉が、誰かの孤独をそっと照らすように  
たった一つの場が、誰かの「これから」に橋をかけるように  
私たちが手渡しあつたもののなかに、小さな確かさが残っていることを。

それは、「成果」と呼ぶにはあまりに脆く  
「形」として語るには、あまりに見えにくいものかもしれません。



社会が追い求めてくる収益的な合理性も、残念ながら形にはできていません。  
けれど、10年後のどこかで誰かが「そういえばあの時」と思い出してくれるよ  
うな、そんな淡い記憶のような活動を、私たちは重ねていきたいと思っています。  
どんなに技術が進んでも、どんなに世界が変わっても  
「ひと」と「ひと」が出会う場の力は、決して消えることはありません。

その原点に、もう一度立ち戻りながら  
CARNIVAL WORKS は歩んでいきます。  
焦らず、誇らず、声高に叫ばず  
それでも確かにこの時代を生きる人たちと  
静かに、深く、丁寧に関わり続けながら。

変わり続ける世界の中で、  
変わらずに在り続けるしなやかさを、わたしたちは信じています。  
本年も、どうかよろしくお願ひいたします。

令和7年5月24日

一般社団法人 CARNIVAL WORKS

代表理事 江藤大裕

